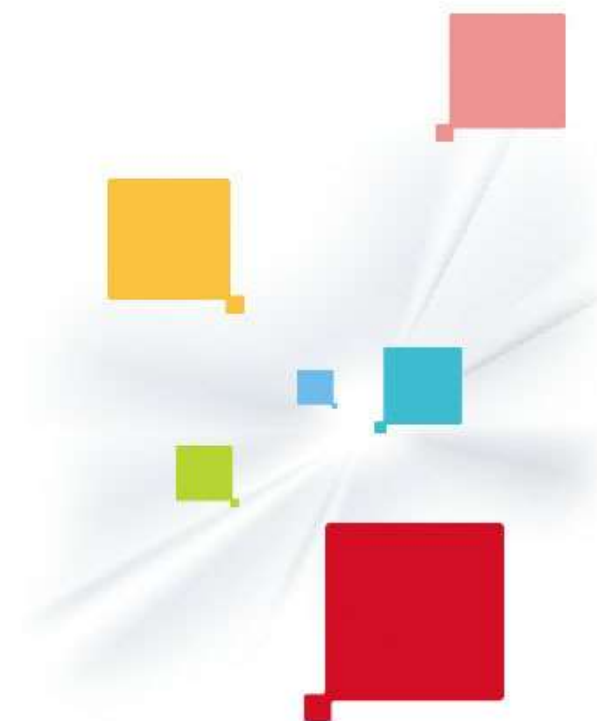


2019年度第2四半期 決算概要

(2020年3月期)

2019年11月1日
株式会社リコー



本資料に関する注意事項

本資料に記載されている、リコー（以下、当社）現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従って、実際の業績はこれらと異なる結果となる場合がありますので、これら業績見通しにのみ全面的に依拠なさないようお願い致します。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 当社の事業領域を取り巻く経済情勢、景気動向、b) 為替レートの変動、c) 当社の事業領域に関連して発生する急速な技術革新、d) 激しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品・サービスを当社が設計・開発・生産し続ける能力、などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。（参照：「事業等のリスク」<http://jp.ricoh.com/IR/risk.html>）

本資料に他の会社・機関等の名称が掲載されている場合といえども、これらの会社・機関等の利用を当社が推奨するものではありません。本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

本資料における年号の表記：4月から始まる会計年度の表記としております。

（例）2019年度（FY2019）：2019年4月から2020年3月までの会計年度

決算説明資料の構成について

2019年4月に開催した IR Dayを踏まえて、決算説明用資料の構成・内容を見直しました。決算説明資料（本資料）と決算補足資料（別紙）を合わせてご参照ください。

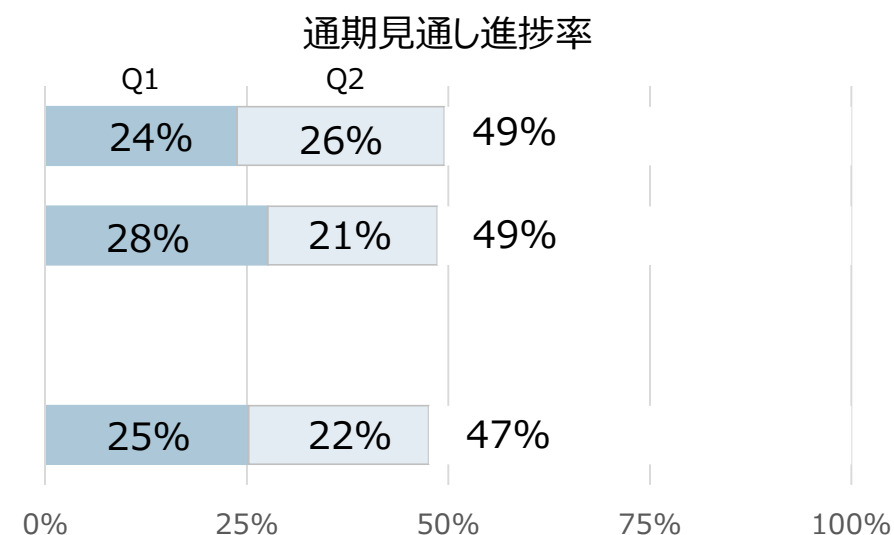
決算説明資料：会社全体、事業セグメントごとに戦略・施策の進捗を示す資料　決算補足資料：決算説明資料を補完するデータ一覧

2019年度第2四半期 決算概要

2019年度第2四半期決算 <損益計算書>

為替・非連結影響を除くと、稼ぐ力は着実に増加

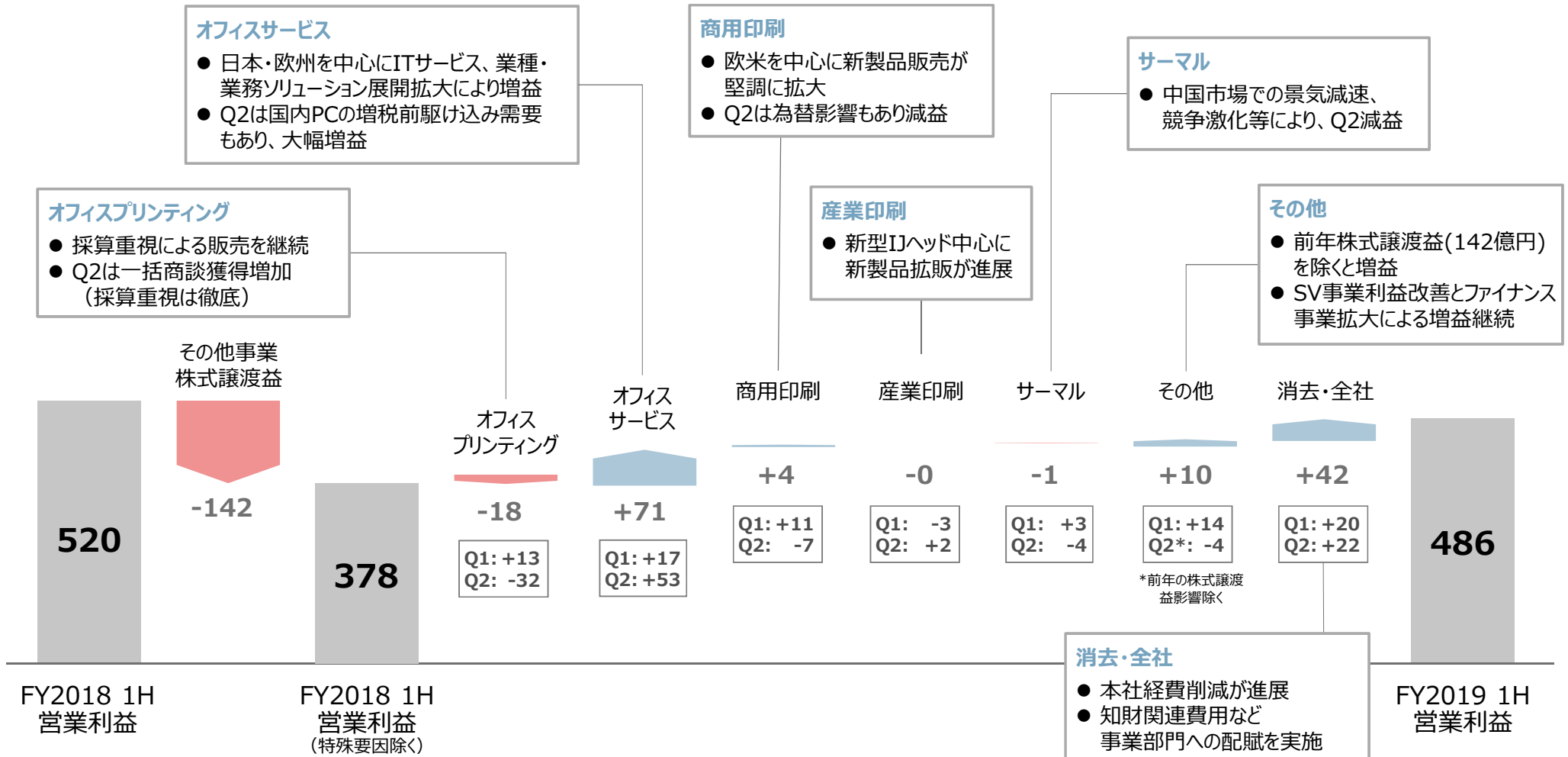
	FY2018 1H実績	FY2019 1H実績	前年 同期比	実質前年 同期比*1
売上高	9,882億円	9,947 億円	+0.7%	+4.0%
営業利益	520億円	486 億円	-6.5%	+32.4%
営業利益率	5.3%	4.9%	-0.4pt	+1.4pt
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	360億円	292 億円	-18.8%	+19.4%
期中平均 為替レート	1USDドル 129.90円	110.34円 121.48円	-1.62円 -8.42円	
研究開発投資	553 億円	516 億円	-36億円	
設備投資(有形固定資産)	355 億円	381 億円	+25億円	
減価償却費(有形固定資産)	341 億円	324 億円	-16億円	



*1 為替影響、前年度の株式譲渡による事業非連結影響を除く前年同期比

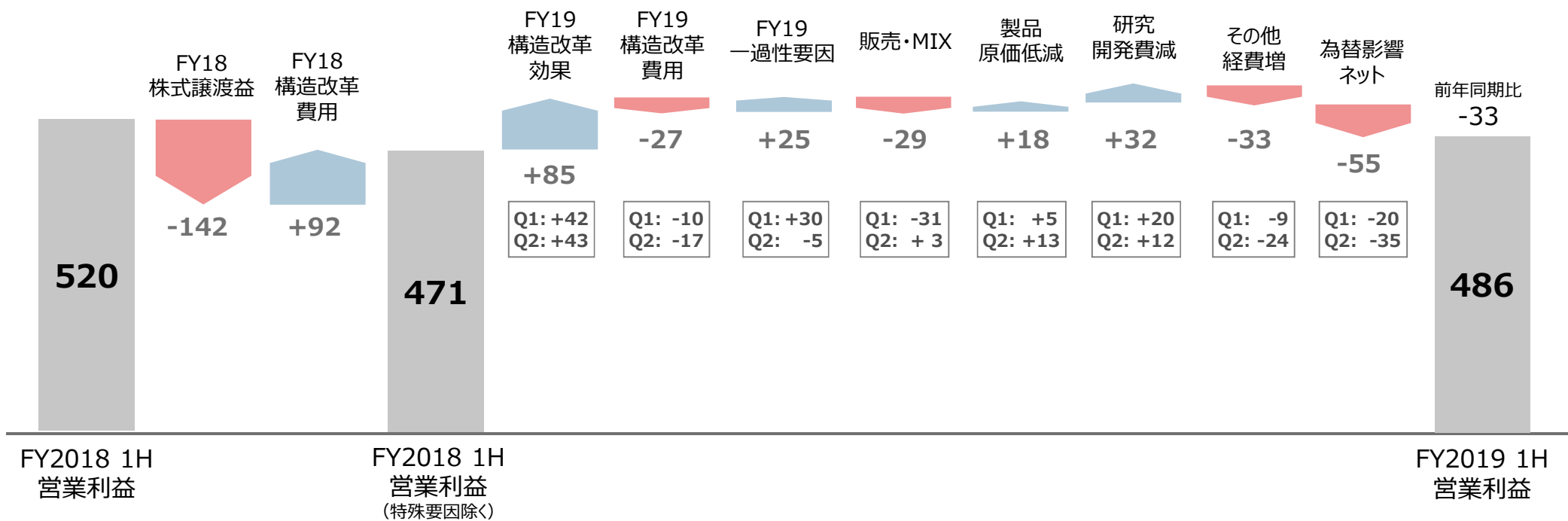
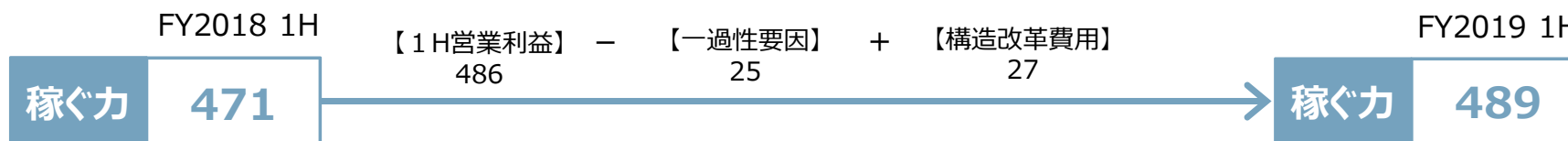
2019年度第2四半期決算 <セグメント別営業利益>

(単位:億円)



2019年度第2四半期決算 <要因別営業利益>

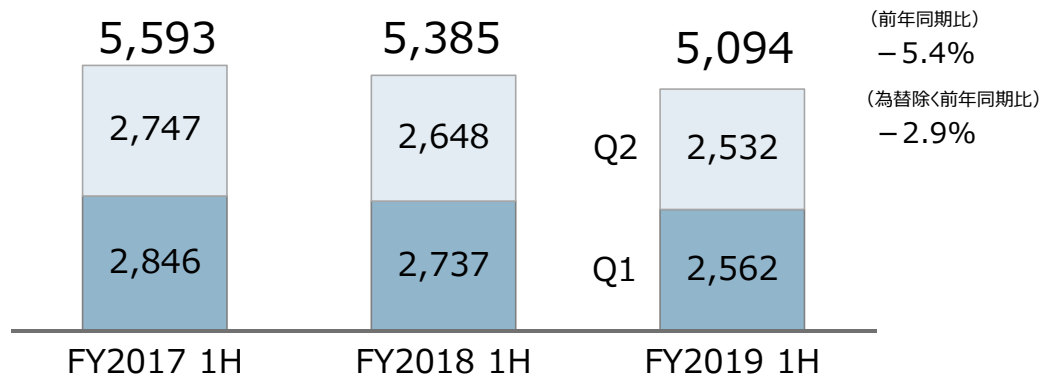
(単位:億円)



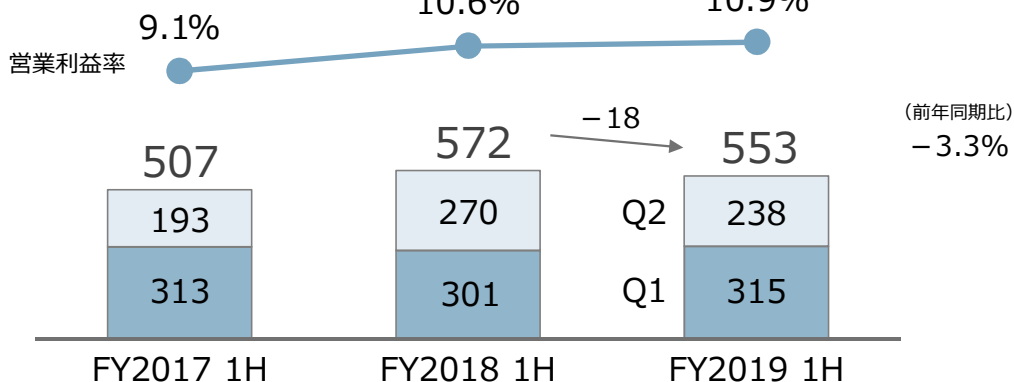
2019年度第2四半期決算 <オフィスプリンティング>

減収減益だが、Q2MFPハード販売台数・売上が前年比プラス転換

売上高 (億円)



営業利益* (億円)



* 営業利益は、全社・消去を除く

1H概況

- 前年同期比 減収減益
- MFP台数-2% ハード売上+0%*

Q2概況

- 前年同期比 減収減益
- MFP台数 +2% ハード売上 +2%*
新世代カラーMFP販売加速と売価マネジメント展開
- MFPノンハード売上 -3% (Q1 -7%から改善)*
日本: Q1の稼働日減影響がなくなり -2%*
海外: Q1のサプライ在庫調整が解消し -4%*
- 新世代MFP
地域別に業種業務に合わせたアプリとのセット販売加速



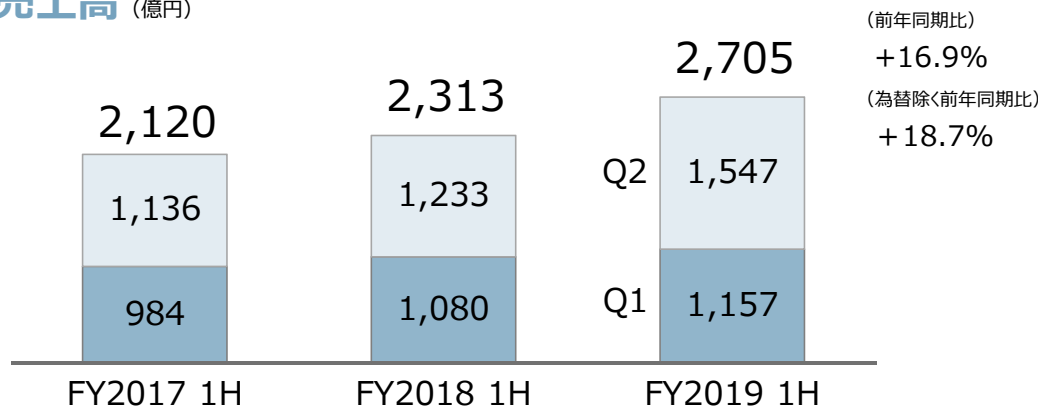
新世代MFP
IM C6000

* 為替影響除く前年比

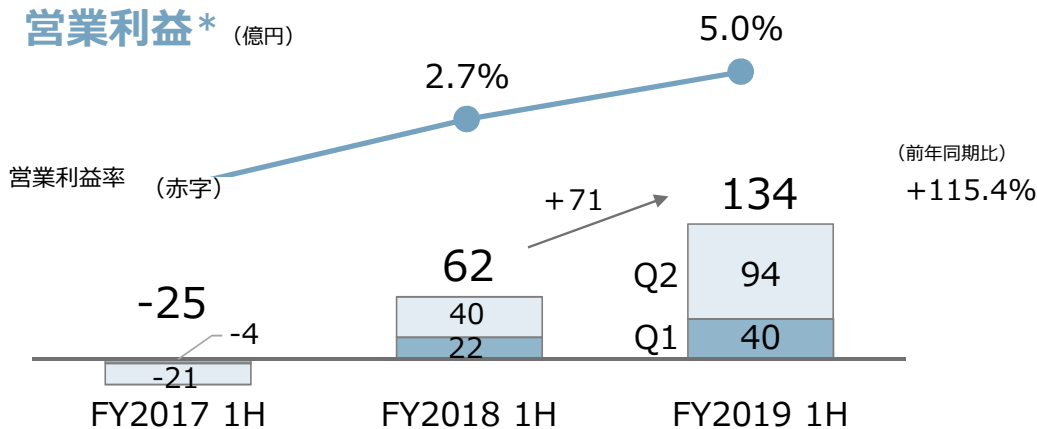
2019年度第2四半期決算 <オフィスサービス>

日本と欧州を中心に拡大し、増収増益

売上高 (億円)



営業利益* (億円)



* 営業利益は、全社・消去を除く

1H概況

- ITサービス、地域ごとに展開する業種業務モデル販売が引き続き拡大し、前年同期比増収増益

Q2概況

- 日本：Windows10移行需要、業種業務ソリューション販売拡大
 - 米州：ドキュメントサービス生産性向上策の推進
 - 欧州：ITサービスが好調に拡大
重点国での販売・サポート体制強化
- Q2営業利益率6.1%へ上昇

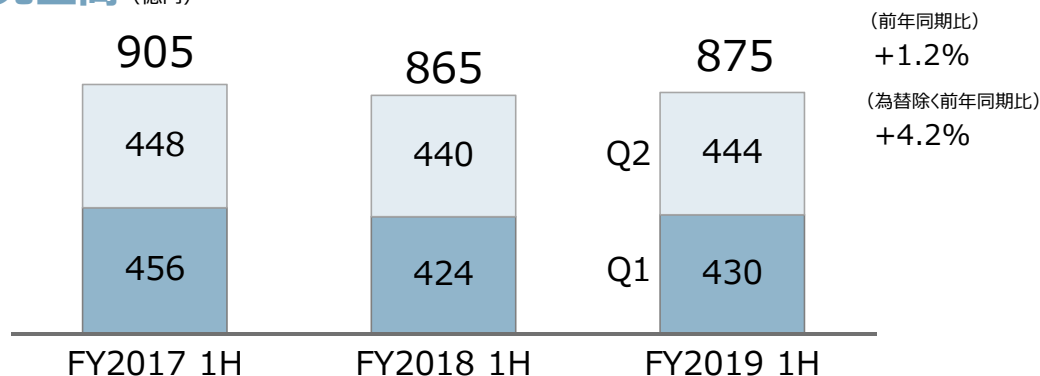
トピックス

- 欧州4か国でIT体制強化
- リコー・ジャパンがJ.D. パワー社 ITソリューションプロバイダー顧客満足度調査2分野で5年連続第一位獲得

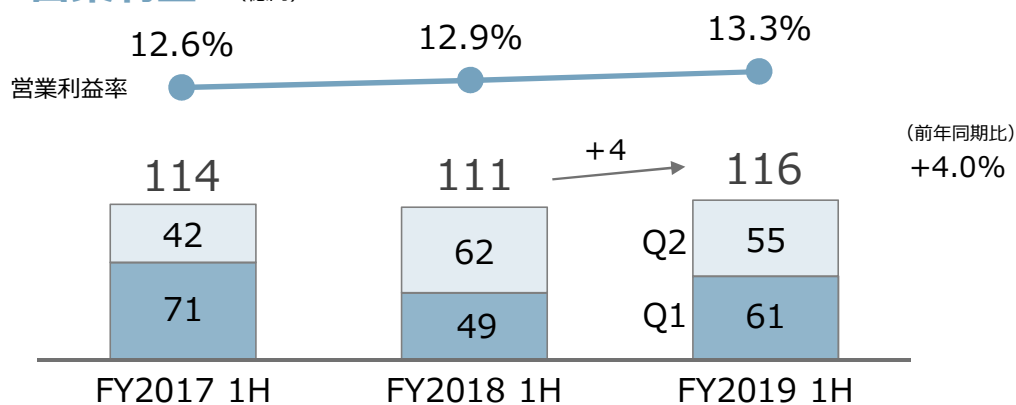
2019年度第2四半期決算 <商用印刷>

新製品販売拡大などにより増収・増益

売上高 (億円)



営業利益* (億円)



* 営業利益は、全社・消去を除く

1H概況

- 米州、中国・ラテンアメリカ等の新興国の売上増加により増収・増益

Q2概況

- 新製品販売台数2桁増により、前年同期比増収 → カラーカットシート機、カラー連帳機を中心に伸長 (ハード+17%増収) * 為替影響除く
- テクニカルサポートと代売体制の強化



高速連続用紙インクジェット・プリンティング・システム
「RICOH Pro VC70000」

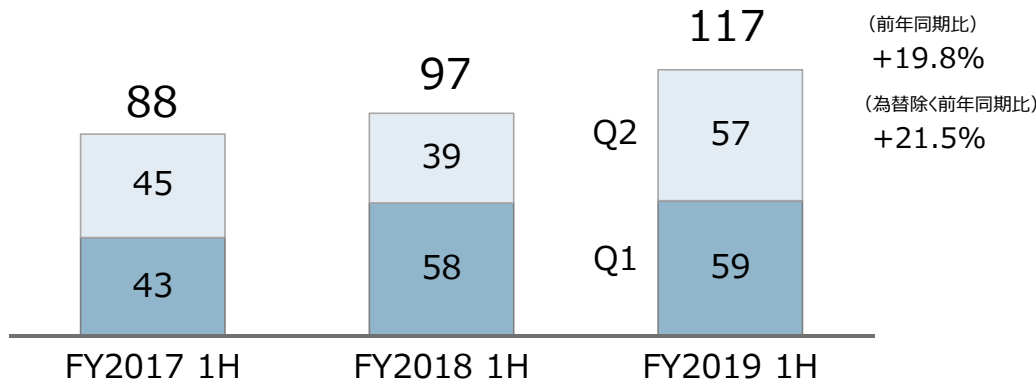


カラープロダクションプリンター
「RICOH Pro C9210/C9200」

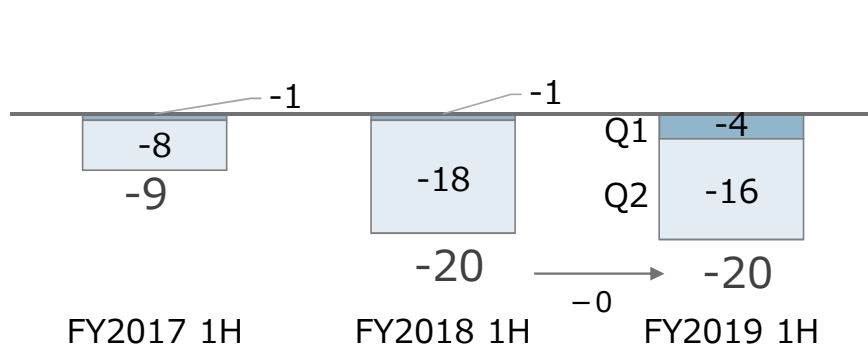
2019年度第2四半期決算 <産業印刷>

IJヘッド、産業プリンタの好調により増収

売上高 (億円)



営業利益* (億円)



* 営業利益は、全社・消去を除く

1H概況

- IJヘッド好調、産業プリンタの販売開始により増収

Q2概況

- 在庫引当、受注期ずれ等の一時的要因を除くと概ね計画通りの営業利益
- 下期に向けて、IJヘッドの増産体制を構築



産業用インクジェットヘッド
「RICOH MH5320/5340」



産業向け大判UVフラットベッド
インクジェットプリンター
「RICOH Pro TF6250」

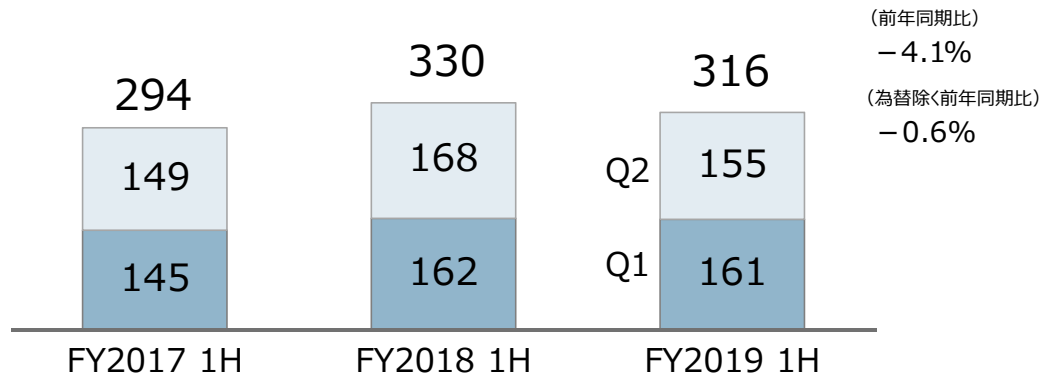


装飾・サイングラフィックス分野向け
ワイドフォーマットプリンター
「RICOH Pro L5130 / L5160」

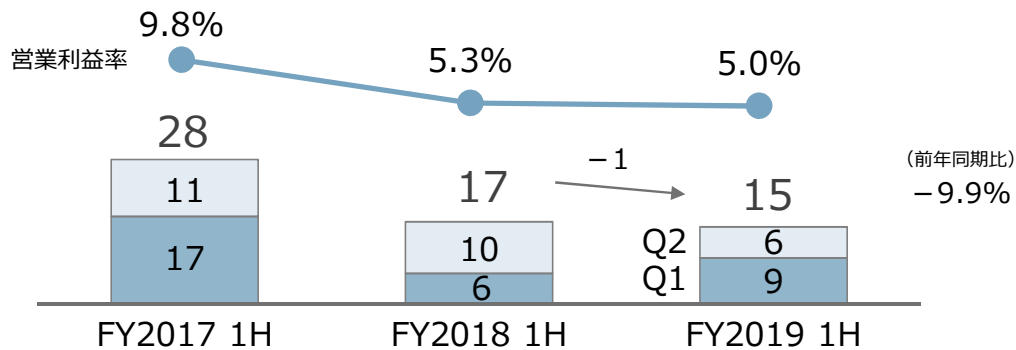
2019年度第2四半期決算 <サマール>

競争環境激化等により減収減益

売上高 (億円)



営業利益* (億円)



* 営業利益は、全社・消去を除く

1H概況

- 物流業向けラベル需要増も、中国市場における競争激化、顧客の経費削減策により減収減益

Q2概況

- 逼迫した原材料供給落ち着き→粗利改善の見込み
- 原価率低減策も継続実施
- エコマース以外の新規顧客、用途の開拓本格化



物流配送ラベル



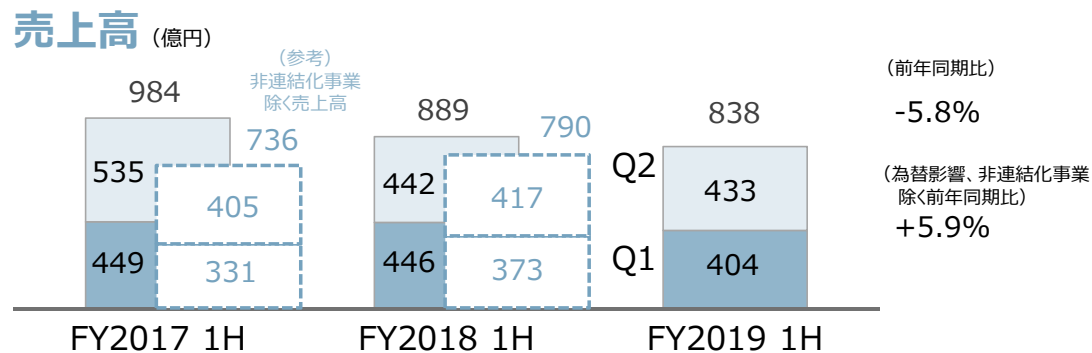
食品計量ラベル



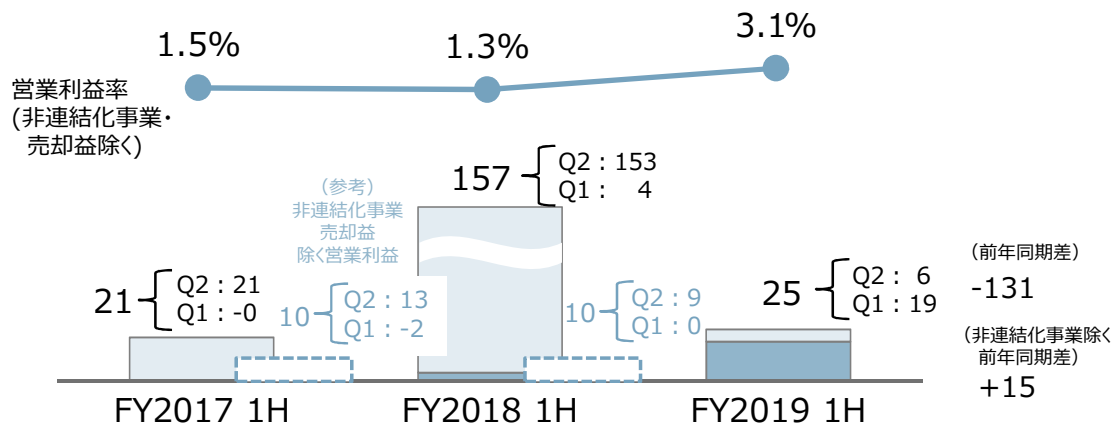
工程管理ラベル

2019年度第2四半期決算 <その他>

非連結影響除くと実質増収。事業収益改善により増益



営業利益* (億円)



* 営業利益は、全社・消去を除く

1H概況

- 物流事業の非連結化影響を除くと増収増益
国内ファイナンス事業拡大とSV事業収益改善

Q2概況

- SV事業は、Q1に引き続き新製品が好調
- 産業プロダクツ事業は、車載ステレオカメラなど、オートモーティブ分野が堅調



360°カメラ
「RICOH THETA Z1」



ハイエンドコンパクトデジタルカメラ
「RICOH GR III」



世界初レーザースキャン方式による
車載ヘッドアップディスプレイ

2019年度第2四半期決算 <連結財政状態計算書>

資産の部

(単位:億円)

	2019年9月末	19/03末比 増減額	
流動資産	13,987	+89	
現金及び預金	2,459	+58	
営業債権及びその他の債権	5,921	-127	前年度末計上債権の回収
その他の金融資産	2,982	+39	
棚卸資産	2,156	+79	
その他の流動資産	467	+66	
売却目的で保有する資産	-	-25	
非流動資産	14,532	+1,178	
有形固定資産	2,548	+45	
使用権資産	698	+698	リース新会計基準(IFRS16)適用による増
のれん及び無形資産	2,318	+120	
その他の金融資産	7,274	+191	ファイナンス事業拡大によるリース債権増
その他の非流動資産	1,692	+122	
資産合計	28,519	+1,268	

(参考) 期末日為替レート: US\$ 1 = ¥ 107.92 (-3.07)
EURO 1 = ¥ 118.02 (-6.54)

負債及び資本合計の部

(単位:億円)

	2019年9月末	19/03末比 増減額	
流動負債	8,791	+349	
社債及び借入金	2,860	+190	ファイナンス事業拡大による有利子負債増
営業債務及びその他の債務	2,994	-67	
リース負債	298	+298	リース新会計基準(IFRS16)適用による増
その他の流動負債	2,637	-73	
非流動負債	9,619	+1,000	
社債及び借入金	7,362	+697	ファイナンス事業拡大による有利子負債増
リース負債	454	+454	リース新会計基準(IFRS16)適用による増
退職給付に係る負債	998	-54	
その他の非流動負債	804	-97	
負債合計	18,410	+1,349	
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,239	-86	為替換算差額による減
非支配持分	870	+6	
資本合計	10,109	-80	
負債及び資本合計	28,519	+1,268	
有利子負債合計	10,222	+888	

(19/03末比増減)

(C)2019 Ricoh Company, Ltd. All Rights Reserved

2019年度第2四半期決算 <連結キャッシュフロー計算書>

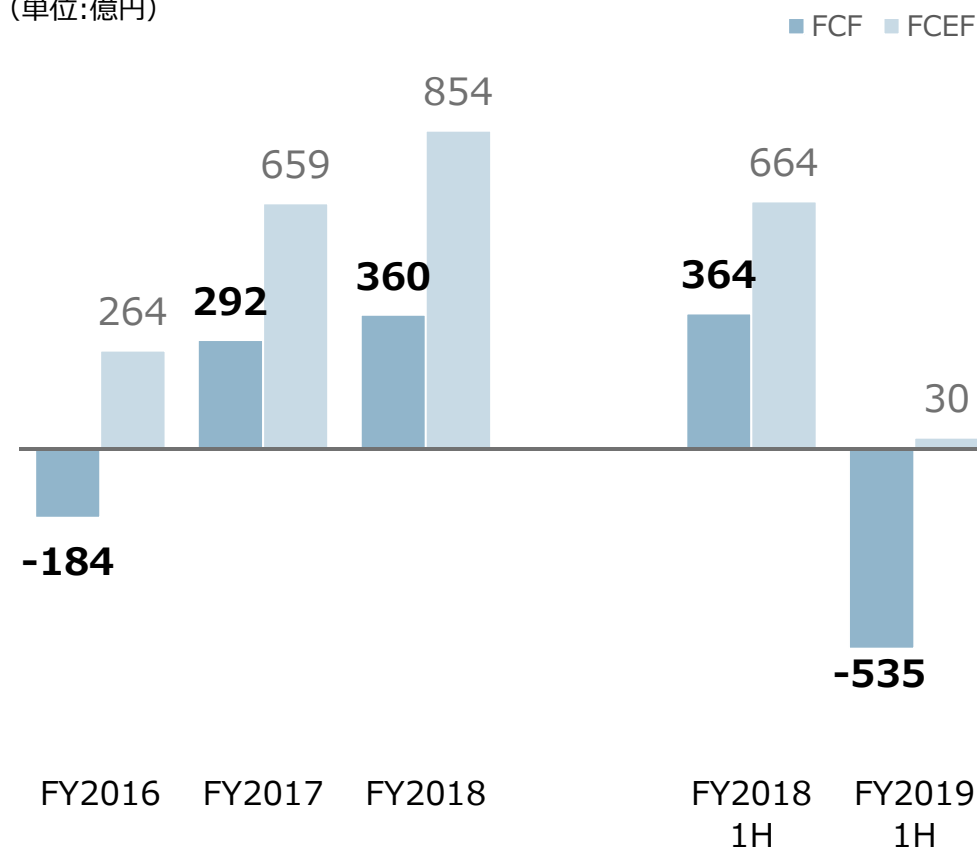
(単位:億円)

	FY2018 1H	FY2019 1H
当期利益	387	322
減価償却費	483	617
その他の営業活動	-595	-636
営業活動によるキャッシュフロー	275	302
有形固定資産の取得および売却	-262	-312
事業の買収	-	-161
その他の投資活動	351	-364
投資活動によるキャッシュフロー	88	-838
有利子負債の純増減	56	922
支払配当金	-54	-94
その他の財務活動	24	-175
財務活動によるキャッシュフロー	27	652
換算レートの変動に伴う影響額	32	-58
現金及び現金同等物の純増減額	424	58
現金及び現金同等物期末残高	2,030	2,459
フリーキャッシュフロー（営業C/F+投資C/F）	364	-535
FCEF (Free Cash flow Excluding Finance business) *	664	30

* FCEF (Free Cash flow Excluding Finance business) : ファイナンス事業を除くフリーキャッシュフロー

フリーキャッシュフロー推移

(単位:億円)



2019年度 見通し

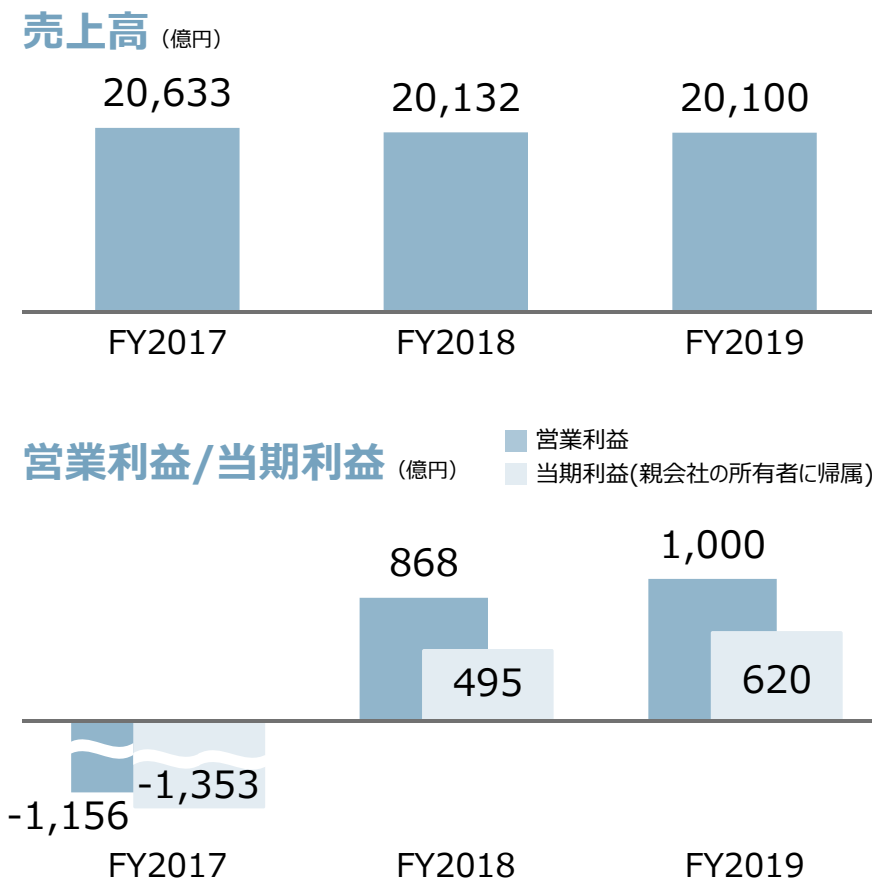
2019年度見通し <主要指標>

期初見通し継続

RICOH
imagine. change.

	FY2018 実績	FY2019 見通し	前年比
売上高	20,132億円	20,100 億円	-0.2% +1.3%*1
営業利益	868億円	1,000 億円	+15.2%
営業利益率	4.3%	5.0%	+0.7pt
当期利益 (親会社の所有者に帰属)	495億円	620 億円	+25.2%
ROE	5.4%	6.5%以上	+1.1pt
年間配当金	23円	26 円	+3円
研究開発投資	1,110億円	1,120 億円	+9億円
設備投資 (有形固定資産)	724億円	740 億円	+15億円
減価償却費 (有形固定資産)	654億円	670 億円	+15億円
期中平均 為替レート	1USDドル 1ユーロ	110.95円 128.46円	110.00円 (Q3以降) 125.00円 (Q3以降)

*1 為替影響、事業譲渡等による非連結影響分除く

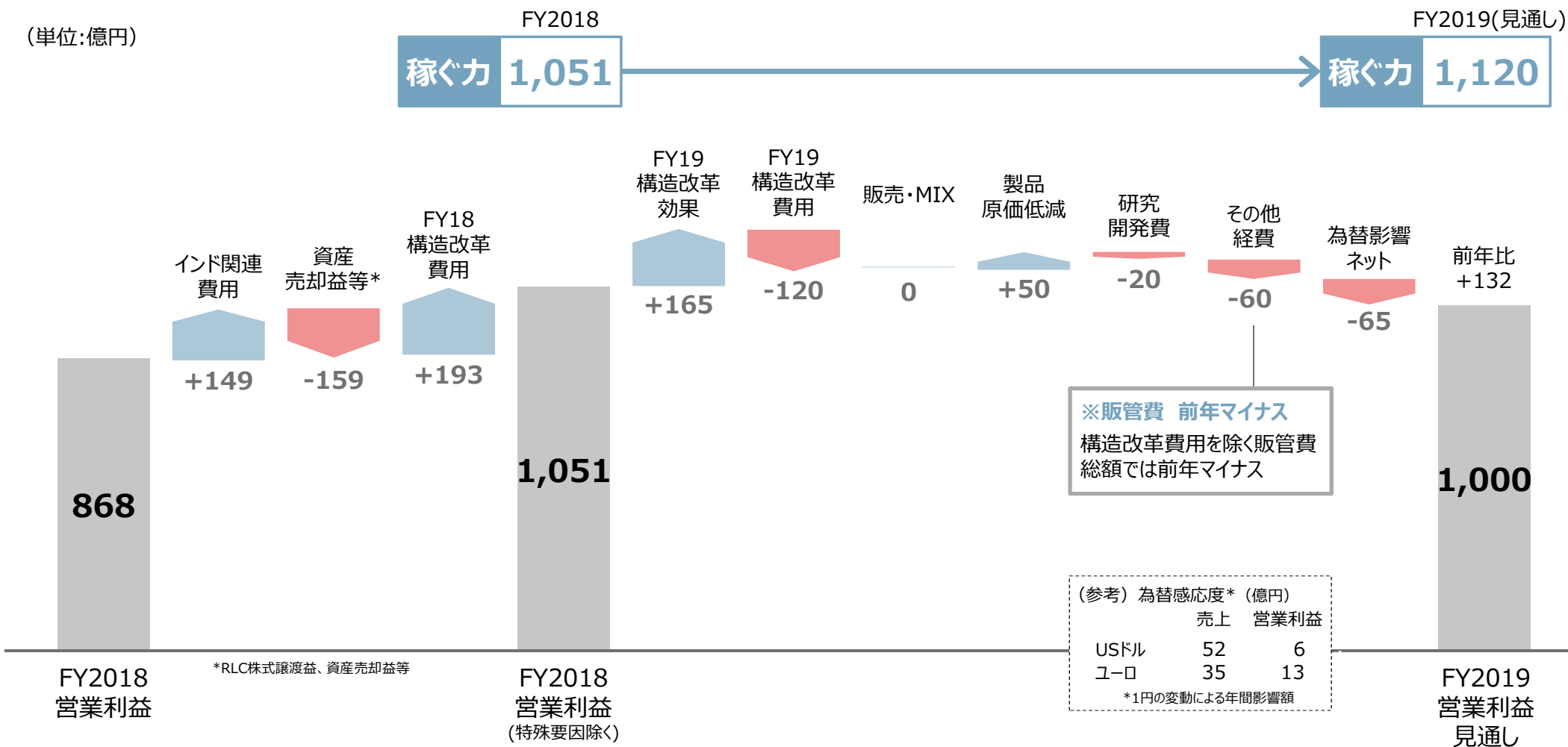


2019年度見通し (要因別営業利益)

期初見通し継続

RICOH
imagine. change.

(単位:億円)



2019年度第2四半期決算 <サマリー>

1H業績

- 連結除外 & 為替影響を除く売上高は前年同期比 +4%増収
- 営業利益 486億円 前年度の連結除外 & 為替影響を除くと +32%増益
- 営業利益年度計画に対する進捗率 49%
- 為替による減益要因を吸収し「稼ぐ力」を着実に強化

1H 事業概況

- オフィスプリンティング：採算重視による販売・商談絞込み継続
国内外で新製品MFP販売拡大(Q2は主要地域でハード台数増 & ノンハード収益改善)
- オフィスサービス：日本は順調に業種業務展開が加速
欧州はIT販売体制強化により増益基調
- 商用印刷：カラー新製品の販売拡大により2桁台数成長
- 産業印刷：新製品IJヘッドが好調。増産投資も行い下期にさらなる拡大を見込む
- サーマル：競争激化によりQ2は減収減益も、原価低減・新規顧客獲得を進めた

通期見通し

- 1Hは社内計画通りに進捗。Brexit、米中貿易摩擦、為替影響など、外部環境には依然不透明感があるが、通期見通しは変更しない
- 配当も期初見通しの年間26.0円（中間13.0円、期末13.0円）を据え置く

補足資料

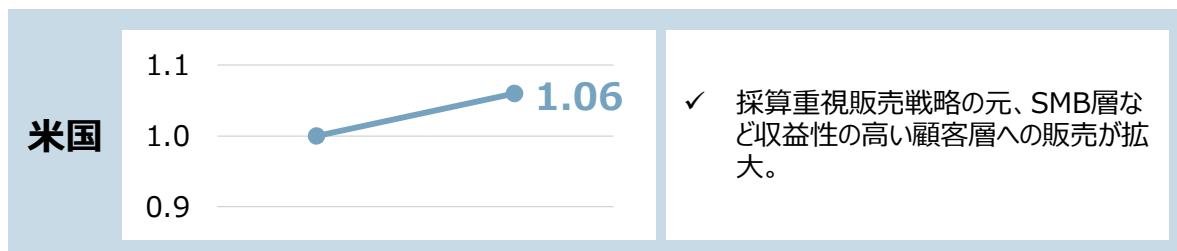
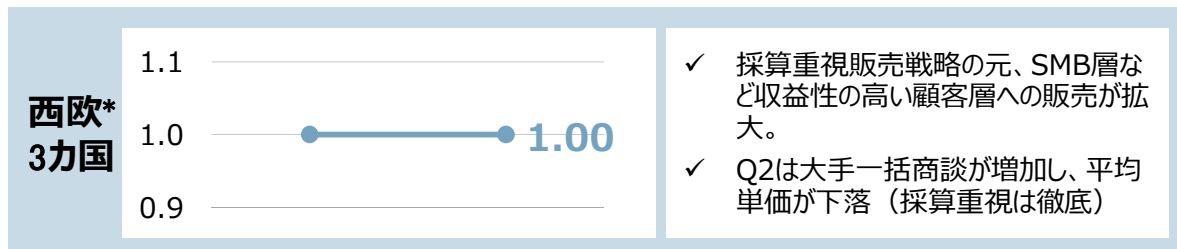
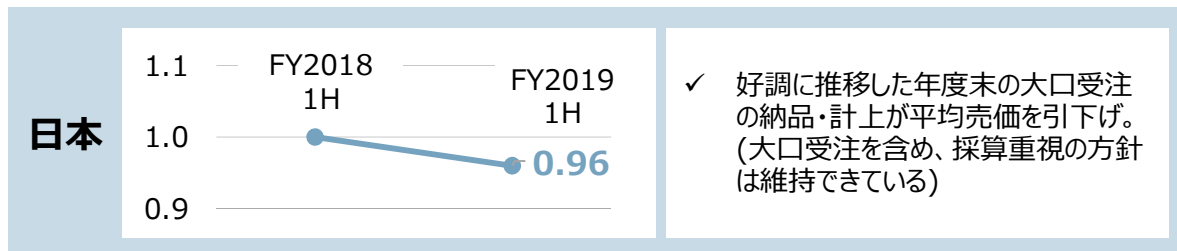
オフィスプリンティング関連指標

<売価マネジメントの状況>

直売 MFPハード売価推移

(FY2018 1Hの実績を“1”としたときの变化)

実施状況



*フランス、イギリス、ドイツ

<ハード・ノンハード状況>

◆ MFP・プリンタ 販売台数伸び率

	FY2019 1H 販売台数 前年比		
		A3	A4
国内	+7%	+6%	+22%
海外	-4%	-2%	-13%
MFP計	-2%	-0%	-8%
プリンタ計	-26%		

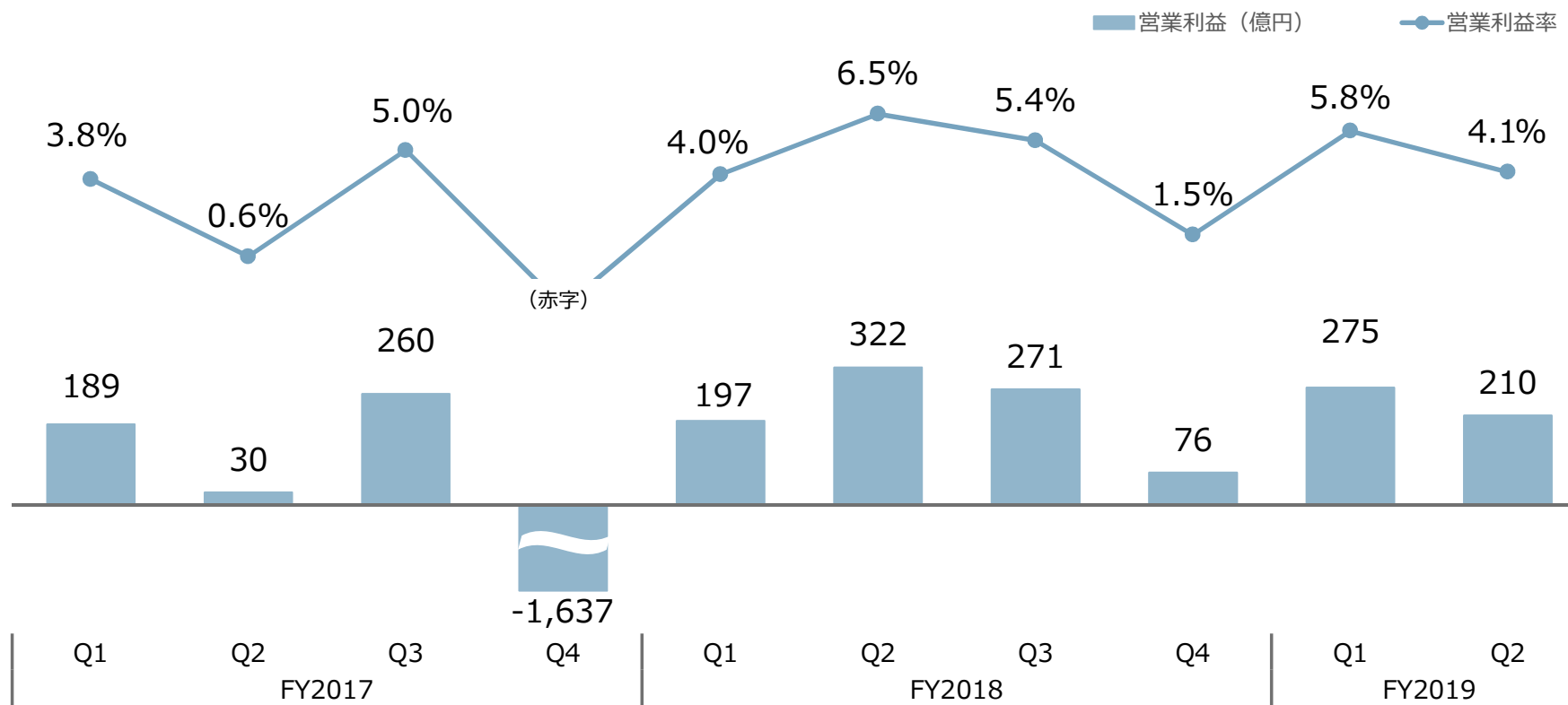
	FY2019 Q2 販売台数 前年比		
		A3	A4
国内	+7%	+6%	+18%
海外	+1%	+5%	-14%
MFP計	+2%	+5%	-5%
プリンタ計	-22%		

◆ MFP・プリンタ ハード/ノンハード売上高伸び率 (為替影響除く)

	FY2019 売上高 前年比		ノンハード	
	ハード	ハード	1H	Q2
国内	+4%	+8%	-3%	-2%
海外	-0%	+1%	-6%	-4%
MFP計	+0%	+2%	-5%	-3%
プリンタ計	-17%	-19%	-4%	-1%
MFP+プリンタ 計	-1%	-0%	-5%	-3%

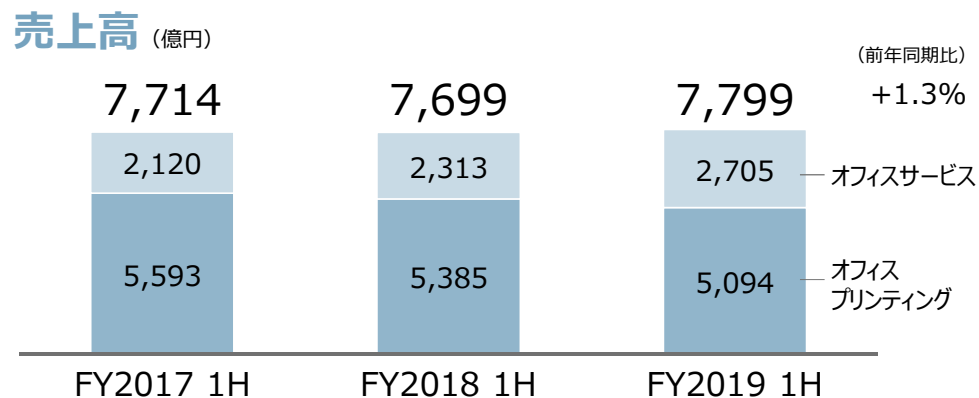
※ハード/ノンハード売上高伸び率の四半期推移は、別紙の連結経営指標推移 (決算参考資料) をご参照ください

四半期営業利益推移



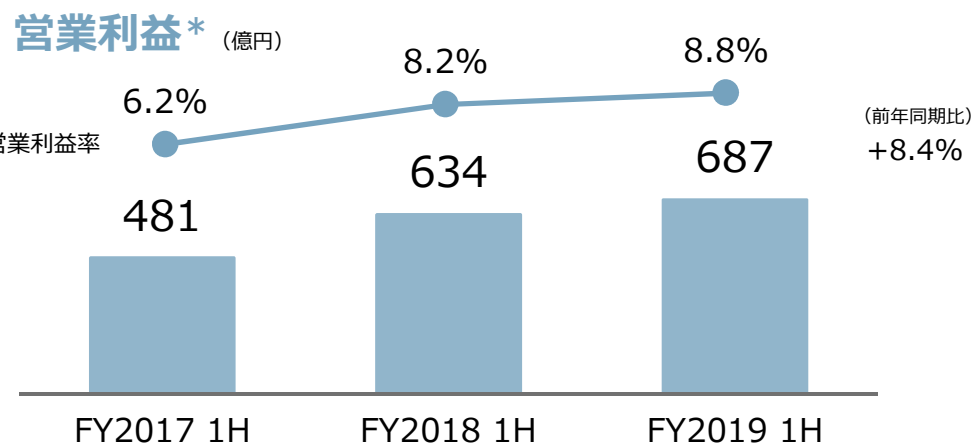
2019年度第2四半期決算 <オフィス向け事業合計>

オフィス向け事業合計では増収増益



1H概況

- オフィスプリンティング事業は減収も、オフィス向け事業合計では増収増益



* 営業利益は、全社・消去を除く

ファイナンス事業を除外した財務情報 <試算>

2019年度第2四半期

(単位:億円)

① 損益計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
売上高	9,947	9,536	839
営業利益	486	319	167

② 財政状態計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
資産	28,519	15,675	13,366
ファイナンス事業債権*	10,241	—	10,241
負債	18,410	7,298	11,634
有利子負債	10,222	-273	10,527
資本合計	10,109	8,377	1,731
ネット有利子負債	7,762	-2,753	10,516

③ キャッシュフロー計算書

	連結	製品・サービス事業	ファイナンス事業
フリーキャッシュフロー	-535	30	-566

<経営指標>

	連結	製品・サービス事業
親会社所有者帰属持分比率	32.4%	53.2%
有利子負債比率 (DELシオ)	110.6%	-3.3%
総資産回転率	0.71	1.22

参考情報です。一部項目に概算の情報が含まれます。

* ファイナンス事業：国内、海外で展開するファイナンス事業

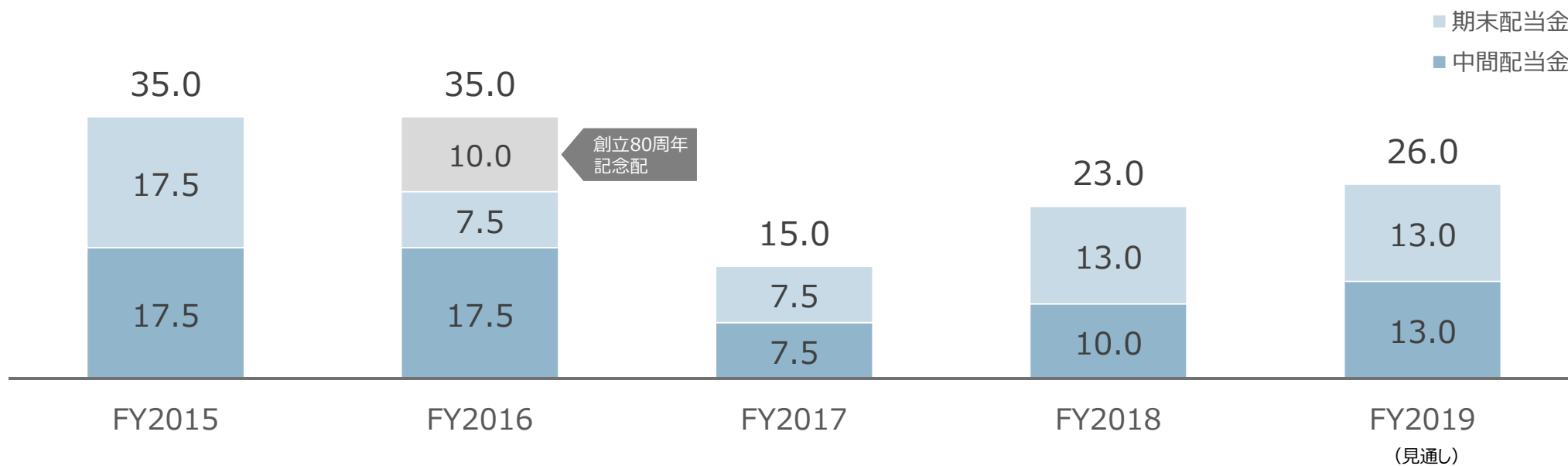
2019年度見通し (配当金)

期初見通し継続

株主還元方針

株主還元については、持続的成長による中長期的な株価上昇と安定的な配当による、株主の皆様への利益還元の拡大が重要であると考えております。そのために、持続的成長に向けた戦略投資により利益の拡大を目指しております。配当金については、連結配当性向30%を目安に安定的な配当に努め、利益見通し、投資計画及び格付けを意識した財務体質等を総合的に勘案したうえで、最終的に決定させていただきます。なお、自己株式取得については、経営を取巻く諸環境等を踏まえ、機動的に行います。
(2019年4月8日 コーポレートガバナンス報告書にて開示)

(単位:円)



RICOH
imagine. change.